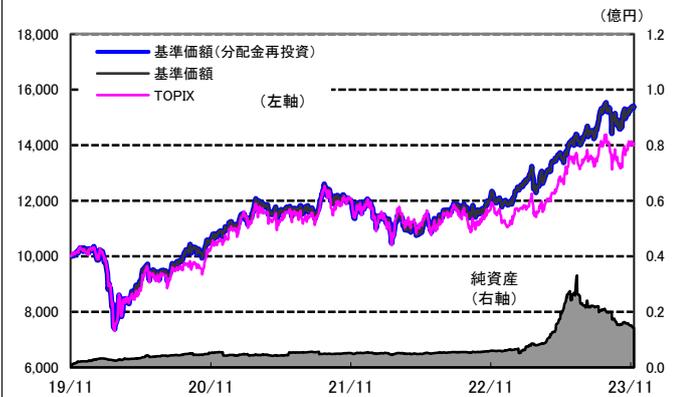


運用実績

2023年11月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 15,375 円

※分配金控除後

純資産総額 0.1 億円

- 信託設定日 2019年11月25日
- 信託期間 2023年11月26日まで
- ※2023年12月19日に繰上償還
- 決算日 原則 12月25日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率		
期間	ファンド	TOPIX
1ヵ月	3.4%	5.4%
3ヵ月	3.0%	1.8%
6ヵ月	15.0%	11.5%
1年	26.8%	19.6%
3年	44.8%	35.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 53.8% 40.4%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
年	分配金
2022年12月	0円
2021年12月	0円
2020年12月	0円
-	-
-	-

設定来累計 0 円

設定来= 2019年11月25日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2023年11月30日 現在

資産・市場別配分	
資産・市場	純資産比
株式	96.9%
東証プライム	76.4%
東証スタンダード	20.0%
東証グロース	0.5%
その他	-
株式先物	-
株式実質	96.9%
現金等	3.1%

・株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。

業種別配分	
業種	純資産比
化学	14.1%
情報・通信業	7.4%
卸売業	7.2%
小売業	7.1%
銀行業	6.8%
その他の業種	54.1%
その他の資産	3.1%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2023年11月30日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
積水樹脂	化学	東証プライム	2.0%
九州電力	電気・ガス業	東証プライム	1.9%
ブロードリーフ	情報・通信業	東証プライム	1.8%
四国電力	電気・ガス業	東証プライム	1.7%
マルゼン	金属製品	東証スタンダード	1.6%
中央自動車工業	卸売業	東証スタンダード	1.6%
あい ホールディングス	卸売業	東証プライム	1.6%
めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	東証プライム	1.5%
千葉銀行	銀行業	東証プライム	1.5%
扶桑化学工業	化学	東証プライム	1.5%
合計			16.8%

組入銘柄数: 148 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

## 先月の投資環境

- 11月の国内株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が月間で5.38%上昇し、月末に2,374.93ポイントとなりました。
- 11月の国内株式市場は上昇しました。月初は、前月末の日銀政策決定会合を受けて日銀が現状の金融緩和姿勢を当面続けるとの見方が強まり、上昇して始まりました。7-9月期の企業決算が総じて堅調な結果となったことや、10月の米雇用統計が事前予想を下回り米利上げ局面が終了するとの見方が広がったことなども好感されました。中旬に入ると、10月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が市場予想を下回り米長期金利が低下したことなどをを受けて半導体関連株などが大きく上昇しました。下旬にかけては、日米金利差縮小との見方から円高米ドル安に振れたことで輸出関連株中心に下落する局面もありましたが、利益確定とみられる売り圧力も吸収しつつ高値圏で推移しました。国内株式市場は月間で3か月ぶりの上昇となりました。
- 東証33業種で見ると、国内外のハイテク関連株の上昇が好感された精密機器など29業種が上昇しました。一方で、海外事業が会社想定を下回ったことで2024年3月期の通期会社計画の下方修正が相次いだパルプ・紙など4業種が下落しました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は課税前の数値で表示しております。)

- 月間の基準価額の騰落率は+3.39%で、ベンチマークを1.99ポイント下回りました。卸売業株、建設業株、サービス業株などの値上がりがプラスに寄与した一方で、複数の銀行業株、精密機器株などの値下がりがマイナスに影響しました。
- 株価が上昇し相対的に割安感が低下した化学株などを全売却した一方で、株価が年初来で下落し割安感が増したと判断した電気機器株などを新規買い付けしました。

## 今後の運用方針 (2023年12月1日 現在)

- 当ファンドは、12月19日に信託の終了日(繰上償還日)を迎えます。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。なお、マンスリーレポートは今月をもちまして最終となります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- わが国の株式を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 中長期的にTOPIX(東証株価指数)を上回る投資成果を目指して、積極的に運用します。  
◆ファンドは、TOPIX(東証株価指数)をベンチマークとします。
- 長期的視野に立った「プライス/バリュー投資」を行ないます。  
◆株式への投資にあたっては、将来の企業収益予想等に基づいて測定される投資価値からみて、市場価格(株価)が他の銘柄に比べて相対的に割安と判断される銘柄を選定し、業種分散等も考慮のうえ、ポートフォリオを構築することを基本とします。  
◆「プライス/バリュー投資」とは、運用担当者が考える将来の収益力に裏打ちされた企業の潜在的な投資価値(=バリュー)と、その企業に対する市場の評価である株価(=プライス)とを比較し、他の銘柄に比べて相対的に割安な銘柄に投資する手法です。
- 「プライス/バリュー投資」の考え方をベースに、リスク・コントロールも重視しながら銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
- 組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
- 株式の実質的な組入にあたっては、フルインベストメントを基本とします。ただし、投資環境、資金動向などを勘案して、運用担当者が適切と判断した際には先物取引の利用も含めて株式の実質組入比率を引き下げることがあります。
- ファンドは「ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年12月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。  
\*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2029年11月26日まで(2019年11月25日設定)  
<信託の終了>ファンドは2023年12月19日に信託を終了(繰上償還)いたします。したがって、2023年12月2日以降の取得のお申込み分より、受付を中止いたします。
- 決算日および収益分配 ●ご購入価額 ●ご購入単位 ●ご換金価額 ●課税関係  
年1回の決算時(原則、12月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。ご購入申込日の基準価額 1口単位または1円単位(当初元本1口=1円) ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.375%(税抜年1.25%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。  
**野村アセットマネジメント株式会社**  
★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)  
★受付時間★営業日の午前9時~午後5時  
★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>野村アセットマネジメント株式会社  
[ファンドの運用の指図を行なう者]  
<受託会社>野村信託銀行株式会社  
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# バリューハント日本株

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
LINE証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3144号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。